

第 8 1 回 理事会（平成 1 6 年度第 1 回）議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成 1 6 年 6 月 2 6 日（土）1 5 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館 2 階第 2 研修室（横浜市神奈川区沢渡 4 - 2）
3. 出席理事：（副会長）野地 澄雄、山田 隆
（専務理事）片 忠夫
（常務理事）三塚 康雄、上田 英之、渡辺 三郎、菊地 富士夫、越前谷芳隆
（理事）本田 衛義、徳本 進、岡本 洋一、佐々木生道、川田 光代、
清水 忠、木村 徳善、菊地 勇二、百海 廷、栗田 謙悟
欠席理事：（会長）河野 洋平、（副会長）古郡 敬一
（理事）柴田 秀一、長久保 巖、斎藤 幸雄、平沢 幸一、吉岡 去私
4. 出席監事： 井駒 利一、木村 信吉
5. 議長選出： 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出：清水 忠理事、栗田 謙悟理事を選出
7. 書記： 川添 徹広報委員を指名
8. 議 事

1) 教育本部関係

(1) 報告事項

渡辺教育本部長より、別紙の通り下記行事に関する報告がなされ、了承された。

イ) SAK / SAC 合同行事反省会及び来期行事の打合せ

日時：H16.6.17(木)

場所：市川市 山崎製パン企業年金基金会館

参加役員：SAC14名、SAK14名

ロ) 第1回教育本部会開催

日時：H16年6月19日(土) 13:00~

会場：神奈川県社会福祉会館

- ・今年度より、理事が1名増えたので担当を全面的に見直します。詳細は次回理事会で報告します。

(2) 審議事項

SAJ教育本部専門委員、ブロック技術員、スノーボード技術員及びパトロール技術員候補について

渡辺本部長より、別紙のとおりSAJ教育本部専門委員5名、スノーボード専門委員1名、ブロック技術員41名(含む追加1名)、スノーボード技術員2名、パトロール技術員2名の候補者を推薦する旨の提案がなされ、承認された。

越前谷事務局長より、ブロック技術員に大和から1名が締切り後に推薦ありましたとの報告がなされ、また山田副会長からはSAJ教育本部専門委員の神奈川県の枠は2名であり、別紙資料の5名の内訳を事情説明しておくこと、さらに会長推薦枠として広報委員を若干名選出していただくことを考えていますとの報告があった。

片専務理事より、教育本部専門委員及びブロック技術員は指導員数比ではフルエントリーとし、SAJから要望があれば個別に対応していくことの提案がなされ、承認された。

2) 競技本部関係

(1) 報告事項

菊地本部長より、別紙の通り下記行事に関する報告がなされ、了承された。

イ) 国民体育大会成年種別参加資格について

- ・第60回大会より「ふるさと」制度の導入により、出身中学または出身高校の所在地が属する都道府県から参加できる
- ・第60回大会より少年組の「一家転住等」に伴う特別措置

親の転勤、離婚等によるやむを得ない理由による一家の転居。

(国内移動選手の制限にかからない)

いずれも資料は提出しなければならないので、書類が準備出来次第ホームページに掲載、各クラブの代表宛に資料送付し徹底するとの報告があった。

ロ) 競技本部各委員会担当理事について

- ・ セクレタリー 平沢理事
- ・ アルペン 斎藤理事
- ・ ノルディック 吉岡理事 a s 平沢理事
- ・ フリースタイル 栗田理事 (県総体担当兼務)
- ・ スノーボード 吉岡理事 a s 平沢理事

各行事の担当は部会を開催し、次回理事会で報告します。

ハ) 平成17年度競技担当者会議開催について

日時: 7月17日(土) 15:00~

場所: 神奈川県社会福祉会館 第4研修室

議題: 県総体、各事業の日程等、ジュニアの育成について

(2) 審議事項

神奈川県中学校体育連盟より後援名義使用の申請について

菊地本部長より、別紙のとおり「第42回全国中学校スキー大会神奈川県予選会の開催に伴う後援名義の使用について(申請)」の申請書類による承認願いの提案がなされ、承認された。

片専務理事より、中体連はSAKの後援なので、年初に申請書が提出されて理事会で承認となる。高体連は9~10月頃で、これは体協とのタイアップ事業の1つであり、推薦基準をルール化しておくことが必要であるとの指示があり、総務本部で検討することになった。

ジュニア長期育成スタートに伴う指定選手認定について

菊地本部長より、別紙のとおりSAK強化委員会の推薦であり、各クラブの推薦も受けて育成強化を進めて行きたいとの提案がなされ、承認された。

三塚常務理事より、指定選手の所属をクラブまたは学校名で統一すべきとの意見が出され、学校名+クラブ名で表示する事にした。

片専務理事から、これからはジュニアの育成に力を入れたいとのコメントがあり、さらにSAKから公式文書を発行する時の発信者名についての確認があり、野地副会長からは、SAKの一連Noで発行しているか又、管理することの要望があり、片専務理事より文書管理規程に基きNoを付けて発行することを遵守してくださいとの指示があった。

平成17年度SAJ競技本部専門委員候補者について

越前谷事務局長より、SAJ競技本部専門委員候補者3名を推薦する旨の提案がなされ、承認された。

3) 総務本部関係

(1) 報告事項

慶弔関係について

特になし

登録状況について

今回は報告なし

会計状況について

岡本理事より、別紙の会計状況報告書にて報告され、年度累計(5月末日)での事業収支差額が16万4105円で、黒字決算となったとの報告があった。

夢国体の助成金について

越前谷事務局長より、ハンディキャップ(HC)の活動資金として県体協の夢国体振興事業助成金を30万申請した所、決定ではないが説明会に出席依頼があった。金額は未定だが、説明会は7月7日に行なわれる予定との報告がなされ、了承された。

総務本部業務の担当について

上田本部長より、別紙のとおり総務本部の業務と担当分担についての報告がなされ、了承した。変更箇所としては、事務局総括業務は越前谷事務局長と佐々木理事が担当する。以下は分担表の通りですので、各本部理事も対応をよろしくお願いします。

評議員会関係のスケジュールについて

本田理事より、7月31日の第11回夏季定例評議員会の進行スケジュール説明がなされ、了承された。

S A K組織体制と運営の基本方針について

片専務理事より、S A K組織体制と運営の基本方針について別紙の通り説明がなされ、了承された。説明の主な項目として、

イ) S A K体制表の下 の注意書き(* 印) は理解しておくこと。

ロ) 理事会の開催日は原則として毎月第1月曜日にし、1ヶ月前に開催案内を送付すること。

ハ) 事業参加役員も期首に割り当てる。監事の事業参加も見直しする。

二) 「顧問・参与会議」と「協会長会議」を分けて開催していたが、今後は合同で期首に行うことが望ましい。

等である。

(2) 審議事項

理事会議事録署名人の人事について

越前谷事務局長より、理事会の議事録署名人に教育本部の清水理事、競技本部の栗田理事を推薦したい旨の提案があり、承認された。選任された理事は2年間よろしくお願いします。

平成17年度S A J総務本部専門委員候補者について

越前谷事務局長より、S A J総務本部専門委員候補者3名を推薦する旨の提案がなされ、承認された。

県体協の表彰について

片専務理事より、県体協の体育功労者表彰として、S A Kから山崎勉顧問を推薦したい旨の提案がなされ、承認された。

片専務理事から、4年前に廣瀬前副会長が表彰されて以来推薦していない。また県体協の評議員は既に廣瀬前副会長が決まっています。次の任期からは現役員から推薦されますとの説明があった。

規約規程の改訂について

徳本理事より、広報委員会規程及び総務委員会規程の一部を改訂したい旨の提案がなされ、承認された。改訂内容は、評議員会及び理事会その他の会議録の担当は、規程上では総務委員会が担当であるが、事実上機能しておらず広報委員会が担当しておりますので、実情に合せて改訂するとの説明がなされた。

平成15年度の事業報告及び各本部報告について

片専務理事及び各本部長・岡本理事より、別紙のとおり事業報告並びに会計報告がなされ、承認された。

イ) 平成15年度事業報告

ロ) 平成15年度総務本部報告

ハ) 平成15年度教育本部報告

二) 平成15年度競技本部報告

ホ) 平成15年度決算報告

この報告の中で、岡本理事からの決算報告にて、収入の部では未収金があり、前期繰越収支差額に変動があるので、後程修正して報告しますが、支出の部では緊縮財政により60万程度詰めることが出来、黒字決算となったとの報告があった。

4) S A Kセミナー理事会

(1) 会計処理の仕方について

会計担当の岡本理事より、別紙資料「S A Kセミナー理事会(会計関連説明資料)」(全17ページ)を基に、会計処理業務を理解していただくために『S A Kセミナー理事会』を開催した。6月1日から新役員体制で執行しておりますが、特に新任理事は行事事計報告がスムーズに出来るように充分理解していただきたいとの要望がなされた。

内容については、割愛させていただくが、理事として知っておくべきことをまとめたものである。その結果、本日出席された理事は十分理解されたと思われる。尚、欠席された新任理事の方へは、セクレタリーまたは本部長が個別指導等を行ない、担当行事を執行していくこととした。

5) その他

S A J 評議員会報告について

山田副会長より、S A J の評議員会が本日開催され、私と片専務理事が出席しましたので、報告しますが、評議員会は滞りなく終了した。S A J 理事も 1 部変更があった。

私は、南関東ブロックからの質問で、財政について 4 年で 20% 減少していること、唐突に行事を変更しないでほしいとの要望を提案した。S A J 執行費では事務局の人件費が年間 1 億円（全執行費の約 10%）かかっている。S A K は 5% の人件費であり、健全な運営をしているとの報告があった。

井駒監事からコメント

6 月 19 日の監査報告書は提出しましたが、監事としての報告書を専務理事に渡すが、このなかで、理事の自宅作業費の基準を作っていただきたい。自宅で作業した時に、例えば日数でいくらか、行事種目でいくらか等の基準を決めてほしい。また専門委員に担当を移行するときも自宅作業費の基準を考えていただきたいとの要望があり、総務本部で検討することとなった。さらに現地運営費は開催地固定化されているので、運営費の固定化及び役員の張付け等で、その行事の適正人員を検討していただきたいとの要望があり、片専務理事より総務本部・競技本部で検討しておくことの指示があった。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成 16 年 7 月 3 日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印